

電債
の
達人

DENSAI
MANAGEMENT
SYSTEM

ユーザーズガイド セットアップ編

 UNION SOFT

セットアップ編 目次

第1章 はじめに

- [1] はじめに 1-1-1
- [2] 必要ソフトウェアのインストール方法 1-2-1

第2章 スタンドアロンセットアップ

- [1] セットアップ前の注意点 2-1-1
- [2] セットアップ方法 2-2-1
- [3] セットアップの結果 2-3-1
- [4] 削除方法 2-4-1

第3章 LANPACK セットアップ

- [1] セットアップの流れ 3-1-1
- [2] サーバーセットアップ 3-2-1
- [3] クライアントセットアップ 3-3-1
- [4] 削除方法 3-4-1

第4章 ライセンス認証

- [1] ライセンス認証 4-1-1

ご注意

当社では、お客様の声に答えるべくプログラムの改正を続けております。それに伴い、操作上の改良のため、マニュアルの表記と実際の画面操作方法が異なることがあります。この場合には、実際の画面・操作方法を優先させていただきます。

第 1 章 はじめに 目次

[1]	はじめに	1-1-1
[2]	必要ソフトウェアのインストール方法	1-2-1

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 ご使用に際しては、マニュアルに記載されている操作方法・注意事項をご確認ください。
 当社製品を末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

《必要システム環境》 (1) スタンドアロン版

OS	Windows 10 ※日本語OSの64ビット版(x64)に対応しています
本体 (対応機種)	プロセッサ：インテル Core i3 プロセッサ 以上 (推奨：インテル Core i5 プロセッサ 以上) または同等の互換プロセッサ メモリ：4GB 以上 (推奨：8GB 以上)
データベース	SQL Server 2019 ※日本語版に対応しています。 ※当製品では、SQL Server 2019 Express Edition をセットアップできます。 ※1 データベース領域として、最大 10GB まで使用できます。 ※本製品のデータベースとして、SQL Server 2019 の上位エディションを使用される場合は、SQL Server の1 クライアントライセンスが消費されますのでご注意ください
必要なソフトウェア	.NET FrameWork 3.5 (Service Pack 1)
ハードディスク	3GB 以上必要 (データは除く)
ディスクドライブ	DVD-ROM ドライブが必要
解像度	横 1024× 縦 758 以上を推奨
周辺機器等	上記OSに対応した、本体に接続可能なディスプレイ・マウス・キーボード・プリンター・日本語変換システム

《必要システム環境》 (2) LANPACK 版

	サーバー	クライアント
OS	Windows Server2019(日本語版) Windows Server2016(日本語版)	Windows 10(日本語版) Windows 8.1 (日本語版) ※各OSの64ビット版 (x64)、 32ビット版 (x86) に対応しています。
本体 (対応機種)	プロセッサ： インテル Xeon E プロセッサ 以上 (推奨：インテル XeonSilver プロセッサ 以上) または同等の互換プロセッサ メモリ：4GB 以上 (推奨：8GB 以上)	プロセッサ： インテル Core i3 プロセッサ 以上 (推奨：インテル Core i5 プロセッサ 以上) または同等の互換プロセッサ メモリ：2GB 以上 (推奨：4GB 以上)

	サーバー	クライアント
データベース	SQL Server 2019 ※日本語版に対応しています。 ※対応エディションは、Enterprise Edition、Standard Edition です。	
必要なソフトウェア	.NET Framework 3.5 (Service Pack 1) .NET Framework 4.5.2 以降 ※上記のソフトウェアがセットアップされていない場合は、当製品を正常にセットアップできません。 ※当製品のプログラム DVD 内に、「.NET Framework 4.5.2」が収録されています。セットアップされていない場合は、こちらをご利用ください。	
ハードディスク	3GB 以上必要（データは除く）	
ディスクドライブ	DVD-ROM ドライブが必要	
解像度	横 1024× 縦 758 以上を推奨	
周辺機器等	上記 OS に対応した、本体に接続可能なディスプレイ・マウス・キーボード・プリンター・日本語変換システム	

※プリンターについて

領収証発行	対応 OS で使用可能レーザープリンター、インクジェットプリンター いずれもプリンタドライバでユーザー定義サイズが指定可能なプリンター
手形発行	対応 OS で使用可能レーザープリンター、インクジェットプリンター ドットプリンター ・いずれもプリンタドライバでユーザー定義サイズが指定可能なプリンター ・ドットプリンターは単票印刷が可能なプリンター 手形発行の連帳印刷には対応しておりません。
管理帳票	対応 OS で使用可能レーザープリンター、インクジェットプリンター

Windows10 Windows8.1 注意事項	マルチタッチ対応ディスプレイ上での、タッチ操作によるスクロール・ズームには、対応していません
その他の注意事項	・快適にご利用いただくために、より高スペックのプロセッサを搭載したコンピュータ、並びにより多くのメモリ搭載を推奨します。

その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none">・快適にご利用いただくために、より高スペックのプロセッサを搭載したコンピュータ、並びにより多くのメモリ搭載を推奨します。・当製品には、記載の OS 等含まれません。・SQL Server および弊社アプリケーション使用領域（バックアップ含む）は、圧縮フォルダでの運用をサポートしていません。・セットアップは、管理者（Administrator など）のユーザーで行う必要があります。・スリープモード・休止モード・スタンバイモードには対応していません。
<p>※with SQL Server 製品に同梱されている「SQLServer 2019」は、「ランタイム-制限使用ソフトウェア」です。したがって、新しいアプリケーション、データベースまたはテーブルなどの開発には使用できません。ただし、既存のテーブルに抽出条件や集計などを実行するツールとしては使用できます。</p> <p>※with SQLServer 製品のみ「SQL Server 2019」が同梱されています。</p> <p>※別途ご用意された「SQL Server」を使用する場合は、セットアップマニュアル 1-1-1 の注意事項をご参照ください。</p> <p>当製品に対応する SQLServer は、SQLServer2014、SQLServer2016、SQLServer2017、SQLServer2019 です。</p>	

(1) 「.NET Framework 3.5」の有効化

当システムを使用する際には、「.NET Framework 3.5」が必要です。スタンドアロン版の場合は当システムをインストールする PC で、LANPACK 製品の場合は、サーバー機及びクライアント PC で、「.NET Framework 3.5」を有効化してください。

※セットアップする PC およびサーバー機がインターネットに接続されている場合は、メッセージにそって操作していただくことで、有効化ができます。

セットアップ前に、事前に有効化する場合は、以下の手順をご参照ください。

◎インターネットに接続していない環境の場合で、有効化がエラーになる場合、当社サポートセンターへお問い合わせください。

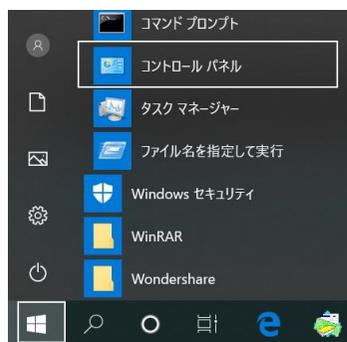
<Windows 10 の場合>

1. コントロールパネルの選択

Windows のスタートボタンから

[Windows アクセサリ]-[コントロールパネル]

を選択します。



2. プログラムと機能の選択

コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」を選択します。



↑ 表示方法：カテゴリ

※表示方法が「大きいアイコン」「小さいアイコン」の場合は、「プログラムと機能」

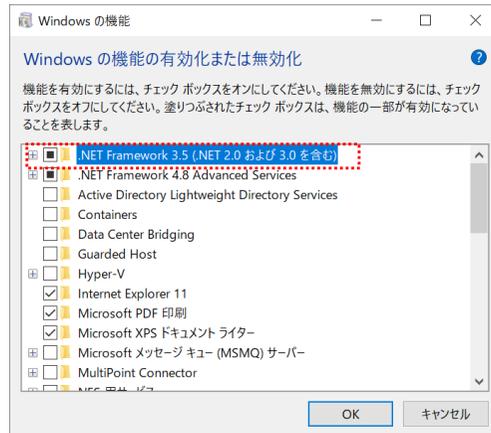
3.Windows の機能の有効化または
無効化の選択

プログラムと機能画面の「Windows の
機能の有効化または無効化」を選択し
ます。

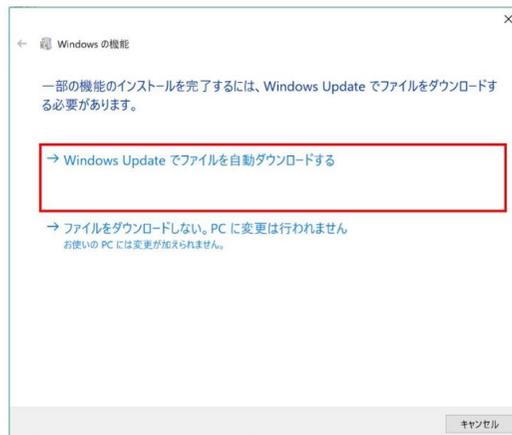


4.Windows の機能

Windows の機能画面が開きます。
ボックスの中の「.NET Framework
3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)」に
チェックを入れ、をの状態にし
ます。その後、「OK」をクリックします。



左図のような画面が表示されたら、
「Windows Update でファイルを自動
ダウンロードする」をクリックします。



5. 変更完了

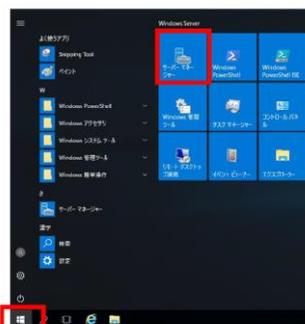
完了のメッセージが表示されたら、
「閉じる」ボタンをクリックします



<Windows Server 2016 の場合>

1. サーバーマネージャーを開く

Windows スタートボタン より
[サーバーマネージャー] をクリック
します。



2. ダッシュボードを起動

サーバーマネージャー・ダッシュボード
起動後、[役割と機能の追加] をクリッ
クします。



3.開始する前に

役割と機能の追加ウィザードが開きます。「開始する前に」を選択し、「次へ」をクリックします。



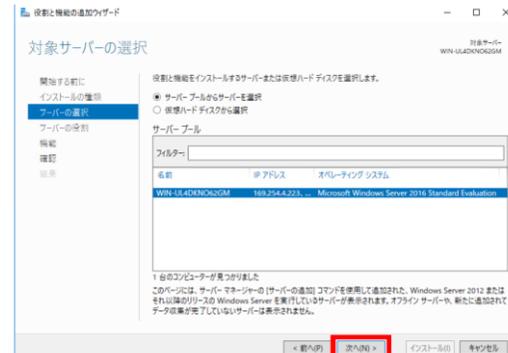
4.インストールの種類を選択

「インストールの種類を選択」は、「役割ベースまたは機能ベースのインストール」のまま「次へ」をクリックします。



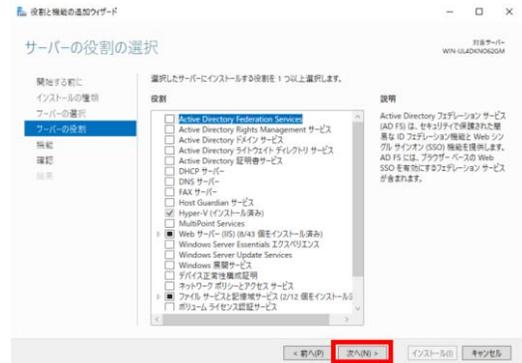
5.対象サーバーの選択

対象サーバーを選択し、「次へ」をクリックします。



6. サーバーの役割の選択

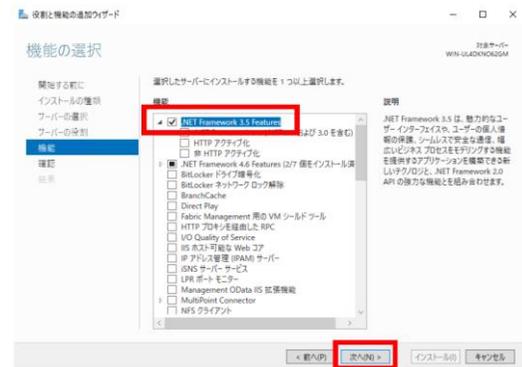
「.NET Framework 3.5」は役割ではなく“機能”であるため、「サーバーの役割の選択」では何も選択せずに「次へ」をクリックします。



7. 機能の選択

機能一覧に「.NET Framework 3.5 Features」があることを確認して下さい

「.NET Framework 3.5 Features」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



8. インストールオプションの確認

「必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する」のチェックは外したままで問題ありません。

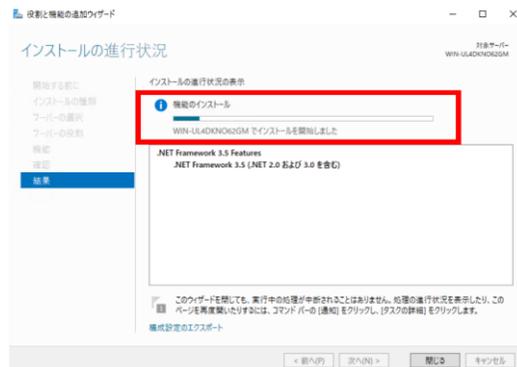
代替ソースパスの警告メッセージが表示されますが、続けて[インストール]をクリックします。



9. インストールの進行状況

インストールが開始されます。

そのままお待ちください。



インストールが完了したら、操作が完了です。

「閉じる」ボタンをクリックし、画面を終了します。

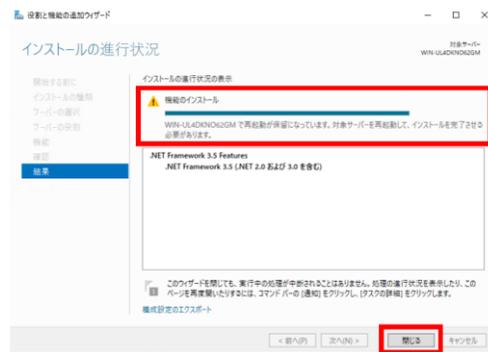
※再起動

右図のような再起動のメッセージが

表示された場合は、「閉じる」ボタンで

画面を終了し、サーバーの再起動を

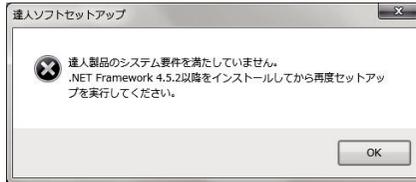
行ってください。



(2) 「.NET Framework 4.5.2」のインストール

※必要システムがインストールされていない場合、メッセージが表示されます。

- 下図のようなメッセージが表示されたら、.NET Framework 4.5.2 のインストールが必要です。



当システムのプログラム DVD の Setup フォルダ内には Microsoft SQL Server をインストールするために必要なソフトウェアを収録しています。インストールが必要な場合は、こちらをご利用ください。

- DVD 内 収録先

スタンドアロン版

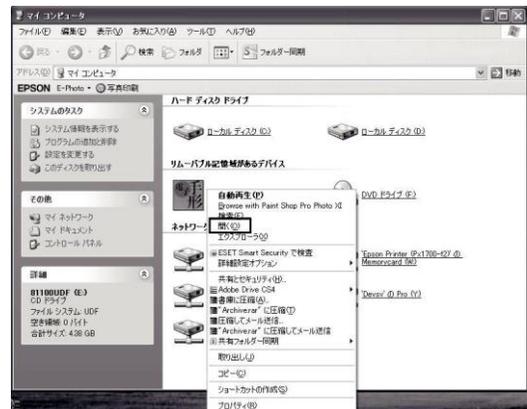
当システムプログラム DVD ⇒ Setup フォルダ内の OtherSetup フォルダ

LANPACK 版

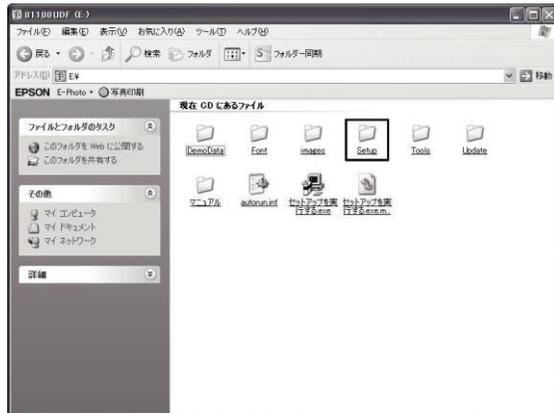
当システムの環境構築 DVD ⇒ Setup フォルダ内の OtherSetup フォルダ

インストール手順

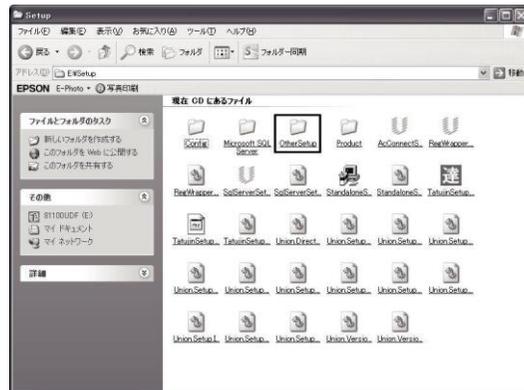
1. コンピュータを開き、DVD ドライブを選択し、右クリックします。
メニューが表示されたら、[開く] を選択します



2. [Setup] フォルダをダブルクリックします。



3. [OtherSetup] フォルダをダブルクリックします。



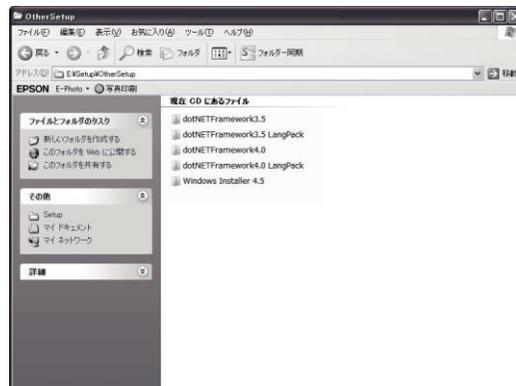
OtherSetup フォルダ内構成

[dot NET Framework 4.5.2]

⇒ 1-2-9

[dot NET Framework 4.5.2 LangPack]

⇒ 1-2-10



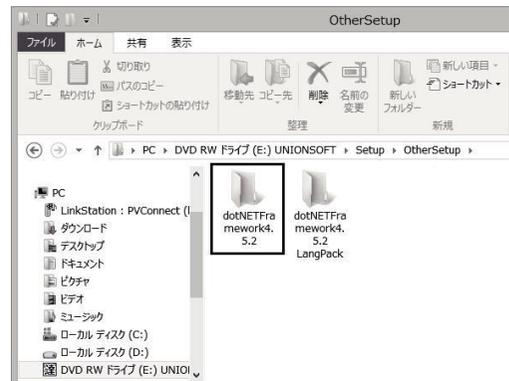
◇ 「. NET Framework 4.5.2」のインストール

1.OtherSetup フォルダ内の

[dotNETFramework4.5.2]-

[dotNetFx452_Full_x86_X64setup.exe]

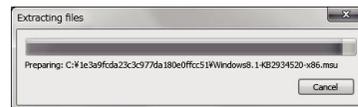
をダブルクリックします



dotNETFramework4.5.2 フォルダ内

の「dotNetFx452_Full_x86_X64

setup.exe] をダブルクリック



ファイルの抽出を開始します。終了するまでしばらくお待ちください

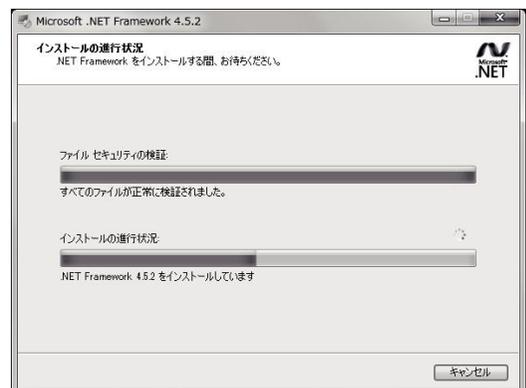
2. セットアップ

[同意する] を選択し、[インストール]

をクリックします。



3. インストールを開始します。



4. セットアップ完了

セットアップ完了画面が開いたら、
[完了] をクリックします。



◇ 「. NET Framework 4.5.2 日本語 Language Pack」のインストール

引き続き、「. NET Framework 4.5.2 日本語 Language Pack」のインストールを行います。

1. OtherSetup フォルダ内の

[dotNETFramework4.5.2 LangPack]
を開きます。

フォルダ内の

[dotNetFx452_Full_x86_x64ja.exe]
をダブルクリックします



ファイルの抽出を開始します。終了するまでしばらく
お待ちください

2. セットアップ

同意するにチェックを選択し、[インストール]ボタンをクリックします。



3. インストールを開始します。



4. セットアップ完了

[終了]ボタンをクリックします。



第 2 章 スタンドアロンセットアップ 目次

[1]	セットアップ前の注意点	2-1-1
[2]	セットアップ方法	2-2-1
[3]	セットアップ結果	2-3-1
[4]	削除方法	2-4-1

スタンドアロン版では、データベースエンジンである Microsoft SQL Server 2019 Express Edition のセットアップと、当システムのセットアップが必要です。下記の手順で、インストールを行います。

当システムプログラム DVD-ROM を DVD ドライブに挿入

↓

Microsoft SQL Server2019 Express Edition のセットアップ 手順 1 2-2-3

※当システムで使用する、SQL Server のセットアップを行います。

↓

電債の達人 のセットアップ 手順 2 2-2-6

※当システムのプログラムをセットアップします。

↓

初期データベースの作成 手順 3 2-2-9

※ SQL Server に当システムのデータベースを作成します。

◆セットアップ前の注意点

< Microsoft SQL Server 2019 Express Edition がセットアップできる環境 >

Microsoft SQL Server 2019 Express Edition をコンピュータにセットアップするには、以下のバージョンの環境が必要です。以下のセットアップがされているかどうかを確認してください。

① OS Windows 10

* 当システムは、Windows 専用です。

当システムをセットアップして実行するためには、Windows 10 が必要となります。

② セットアップは、管理者アカウントのユーザーで行ってください。

③ セットアップをする前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。

* スクリーンセーバーや、アンチウイルスプログラム、その他常駐しているアプリケーションソフトがある場合は、それらのプログラムを無効や停止、終了する必要があります。※アンチウイルスプログラムの無効や停止、終了方法は各製造元へお問い合わせください。

④ セットアップ後に作成されたフォルダやプログラムは、変更・移動しないでください。

当システムが正常に起動できなくなります。

⑤ セットアップ先は、必ずローカルディスク上を指定してください。

◎当システムのプログラムディスクを DVD ドライブにセットすると「電債の達人 セットアップ」が自動起動します。

セットアップを実行すると、当システムを使用する際に必要なデータベースである SQL Server をセットアップし、続いて、当システムをセットアップします。

すでに当システムに必要な SQLServer がセットアップされている場合、当システムのプログラムだけがセットアップされます。※インストールされるプログラムによって下記を参照して下さい。

(1)手形の達人等当社製品がインストールされていない環境にセットアップする

セットアッププログラムを起動し、1-1 SQL Server 2019 Express Edition のインストールより開始します。 ⇒ 2-2-3 へ

(2)手形の達人等当社製品がインストールされている環境にセットアップする

旧製品で使用するデータベースのインスタンスは、「UNIONINSTANCE2」です。

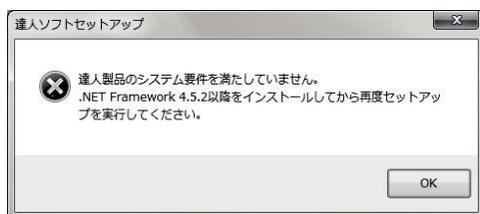
電債の達人に同梱されているデータベースは SQL Server2019 で、インストールした場合インスタンスは「UNIONINSTANCE19」が作成されます。

そのまま、セットアッププログラムを起動し、1-1 SQL Server 2019 Express Edition のインストールより開始します。 ⇒ 2-2-3 へ

データ移行が終了したら、旧製品のデータベース及び製品プログラムが削除を行っていただいて問題ありません。

※何らかの事情で、使用する SQL Server を変更したくない場合は、インストール前に弊社サポートセンターへご相談ください。

○必要システムがインストールされていない場合、メッセージが表示されます。



当システムのインストール開始時に以下のメッセージ画面が表示された場合は、当システムのプログラム DVD に収録している各ソフトのインストールが必要です。

※ 1-2 [必要ソフトウェアのインストール方法] を参照し、必要システムをインストールしてください。

1. セットアッププログラムの起動

DVD-ROM ドライブに当システムの

「プログラム DVD」をセットし、「Setup.exe の実行」をクリックします。



※下記メッセージが表示されたら、下記手順で必要なシステムをインストールしてください。

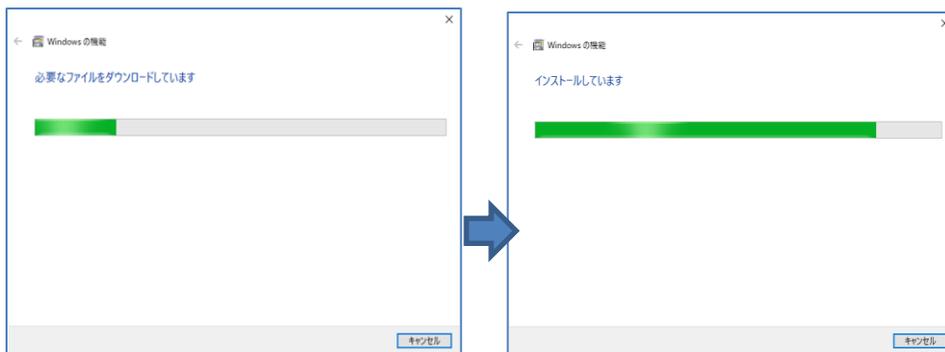


※セットアップを行うパソコンが
インターネットに接続している場合

←「この機能をダウンロードしてインストールする」をクリックします。

※インターネットに接続していない場合
弊社サポートセンターへご連絡ください。

○インターネットに接続している場合、自動でダウンロードを開始し、引き続きインストールを行います。





インストールが完了しました。

2. セットアッププログラムの実行

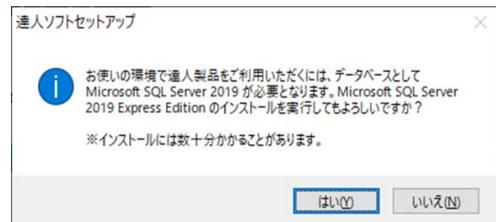
「セットアップを実行する」をクリックします。



順1 Microsoft SQL Server 2019 Express Edition のセットアップ

3. SQL Server のインストール

- ① SQL Server 2019 Express Edition のインストールを実行するための確認メッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、SQL Server 2019 Express Edition のセットアップを開始します

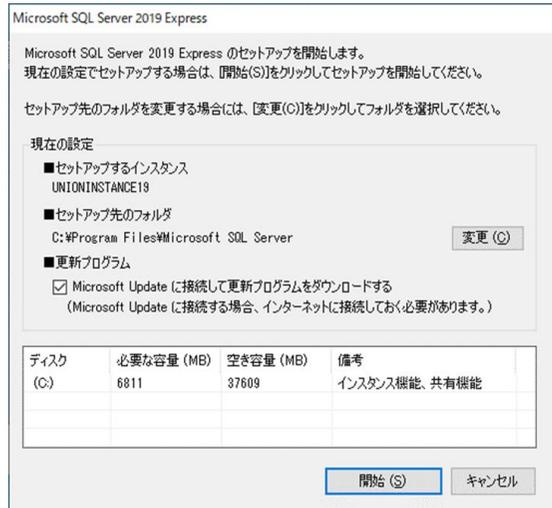


②SQL Server のセットアップ先を指定し、[開始] ボタンをクリックします。

セットアップ先 初期値

C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server

表示されているセットアップ先を変更する場合は、[変更] ボタンをクリックします。



③SQL Server 2014 Express Edition のインストールを開始します

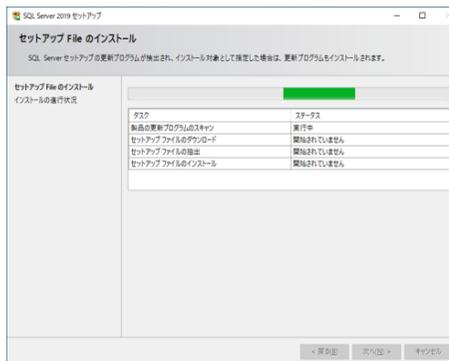
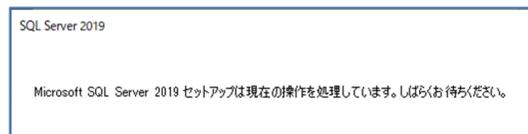
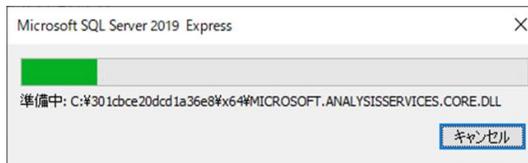
※図のようにいくつか画面が切り替わりますが操作は行わず、そのままお待ち下さい。

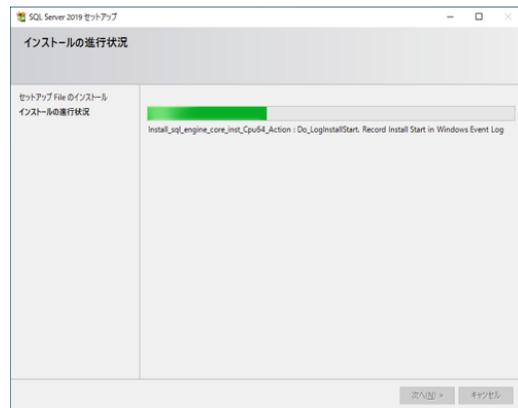
※コンピュータの処理能力によって差がありますが、10 ~ 40 分程度の時間がかかります

◎ユーザーアカウント制御

セットアップの途中で、ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

* 画面遷移

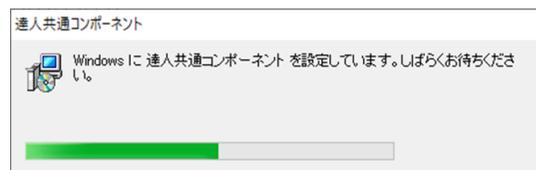




④ SQL-DMO コンポーネントのインストール



⑤ 達人共通コンポーネントのインストール



終了までそのままお待ちください。

4. 当製品プログラムのインストール

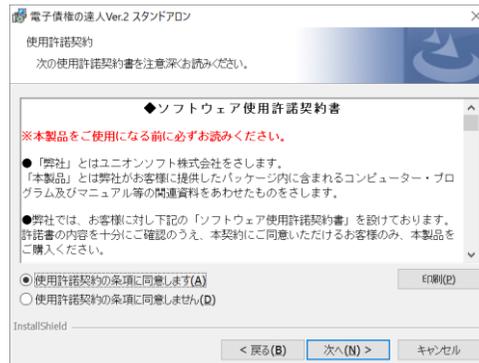
① 手形の達人 for 奉行 11 スタンドアロンセットアップウィザードが開きます。



[次へ]をクリックします。

②使用許諾契約書の同意

内容を確認し、「同意します。」を選択し、[次へ]をクリックします。

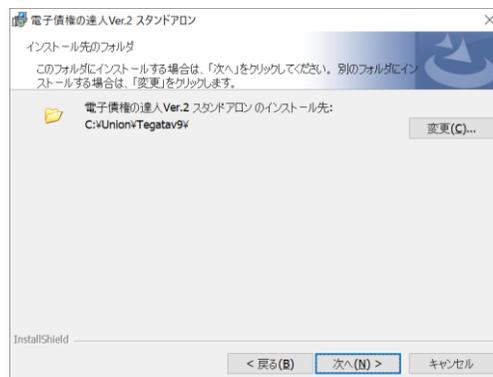


③インストール先のフォルダー

プログラムのセットアップを指定し、[次へ]をクリックします。

初期値 : C : ¥Union¥TegataV9

表示されているセットアップ先を変更する場合は、[変更]ボタンをクリックします。



※セットアップ先の変更

[変更]をクリックすると、インストール先フォルダーの変更画面が開きます。

セットアップ先をCドライブではなくDドライブにしたい場合は、フォルダー名欄の C:¥Union¥TegataV9 を D:¥Union¥TegataV9 のように、ドライブ名のみ変更します。

あらかじめ、作成済のフォルダーを指定する場合は、探す場所の▼をクリックし、セットアップを行うフォルダーを指定します。

注意

[変更]ボタンをクリックし、他の

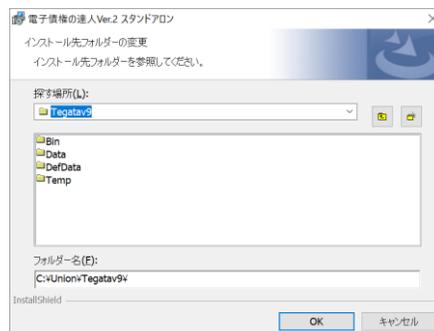
ドライブのみを選択した状態で

(D¥ などの表示のみ)

インストールすると、当システムが

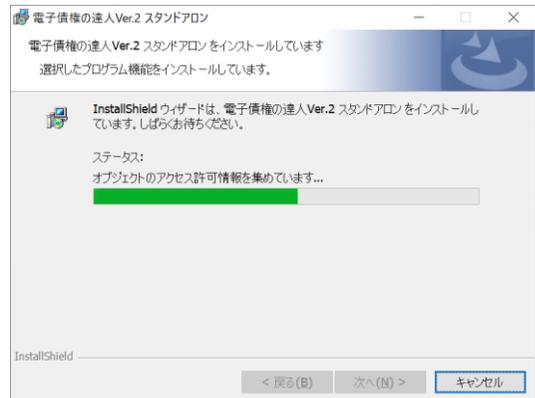
正常に動作しない可能性があります。

ます。



④インストールの開始

[インストール]ボタンをクリックします。

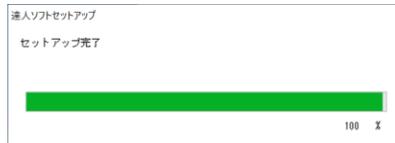


⑤インストールの完了

[閉じる]をクリックします。

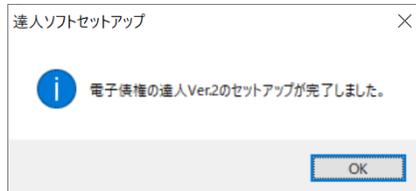


セットアップウィザードの[閉じる]をクリックすると、引き続き「仕訳連動コンポーネント」のインストールを自動的に行います。終了までそのままお待ちください。



⑥セットアップ完了

[OK]をクリックします。



セットアップが終了すると、達人セットアップ画面に戻りますので、[閉じる]をクリックし終了してください。

5. 初回起動／初期データベース作成

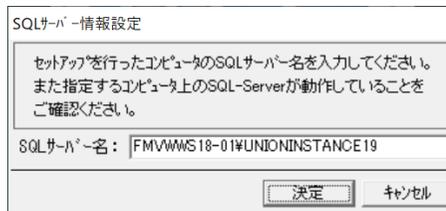
当システムの初回起動時には、SQL サーバー情報設定と初期データベース作成を行います。

①手形の達人 for 奉行 1 1 の起動

SQL サーバー情報設定画面が開いたら、SQL サーバー名を指定し、[決定]をクリックします。

初期値

(PC名)¥UNIONINSTANCE19



②初期データベースの作成

初期データベースの作成を開始します。

初期データベースの作成が終了したら、メッセージが表示されます。

[OK]をクリックすると、当システムのメインメニューが表示されます。



セットアップを行うと、運用に必要なフォルダ・データベース・ファイルが作成されます。

□作成されるフォルダの構成

セットアップによって、以下のフォルダが作成されます。

C : ¥Union セットアップ先フォルダ *セットアップ先を「C:¥Union」にした場合

 L Togatav9

 L Bin 実行プログラムの格納領域

 L Data データ格納領域

 L DefData 初期データ作成用ファイル格納領域

 L Temp 一次ファイル格納領域 *バックアップ時などに使用します。

 L Tools 各種ツール格納領域

 * Tools 内のツールは、当社サポート担当より指示があった場合にご使用
 ください。

上記フォルダは、いずれも変更・移動しないでください。

当システムが正常に動作しなくなります。

□Data フォルダに格納されるデータ領域について

・初期データ作成時に以下のデータ領域が作成されます。Ust9def.mdf・ust9def.ldf

 会社データテンプレート ust9sys.mdf・ust9sys.ldf ユーザー情報などが格納されます。

・会社データ作成で、新規の会社データ領域を作成した際に以下のようなデータ領域が作成されます。

 Ust9dat001.mdf・ust9dat001.ldf

 会社データを新規に作成するごとに、データベースが 1 個追加されます。データベースが増えるたびに、ファイル名の末尾の数字が増えます。(ust9dat002、ust9dat003・・・)

□セットアップされるコンポーネント

セットアップによって、以下のようなコンポーネントがセットアップされ、[コントロールパネル]

 - [プログラムと機能] 画面に表示されます。

- ・電債の達人
- ・達人共通コンポーネント
- ・Microsoft SQL Server 2019
- ・Microsoft SQL Server 2019 Native Client
- ・Microsoft SQL Server 2019 セットアップ (日本語)
- ・Microsoft SQL Server 2019 セットアップサポートファイル
- ・Microsoft SQL Server Brower
- ・Microsoft SQL Server VSS Writer
- ・Microsoft SQL Server 2005 の旧バージョンとの互換性

1.削除の手順

コンピュータからの削除

手順 1・・・データの削除	2-4-2	当システムで使用しているデータベースを削除します。
↓		
↓		
手順 2・・・プログラムの削除	2-4-4	当システムのプログラムを削除します。
↓		
↓		
手順 3・・・SQL Server の削除	2-4-5	当製品で使用している SQL Server を削除します。 ※SQL Server のインスタンスを、当システム以外のアプリケーションが利用している場合は、データ削除や SQL Server の削除を行わないでください。

注意！ データの削除や SQL Server の削除をする場合は、必ず [データ管理]-[会社データ保存]メニューで、すべての領域のバックアップデータを作成しておいてください。
バックアップデータがない場合は、一度削除したデータをもとに戻すことができません。

2.システム削除前の注意点

- * アンインストールは、管理者アカウントのユーザーで行ってください。
- * 念のため、[データ管理]-[会社データ保存]メニューで、すべての領域のバックアップデータを作成しておいてください。
- * 当システムが起動していないことを確認してから、プログラムの削除を行ってください。
- * 手形発行を利用している場合は、自社用に作成した手形フォームもすべてバックアップを作成してください。メニュー：[導入処理]-[フォーム設計]-[手形フォーム設計]

手順 1 データの削除

初期データベースを含め、当システムで使用しているすべてのデータベースを削除します。

※再インストールを行う場合などで、データベースを引き続き使用する場合は、データベースの削除は必要ありません。

注意！

データベースを削除した場合、いままで使用していた会社データをもとに戻すことはできません。

念のため、[データ管理]-[会社データ保存] メニューで、すべての領域のバックアップデータを作成後に、この操作を行ってください。

1. データ削除ツールの起動

Windows のスタートボタンより[電債の達人]-[電債の達人システムツール]を起動します。

システムツールの[データベースを削除する]をクリックします。



2. データ削除

当システムで使用しているすべてのデータ領域が表示されます。[削除] ボタンをクリックします。

* 個別にデータ領域を指定することはできません。一括で削除を行います。

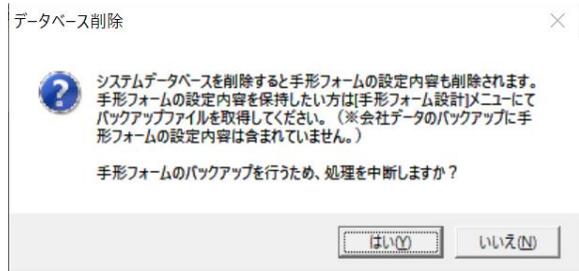


[削除]をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

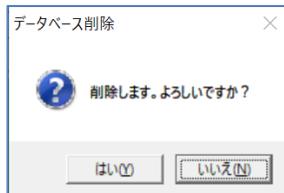
※手形フォームのバックアップがまだの場合、この時点で「はい」をクリックし、削除処理を中断してください。

手形フォームのバックアップ後削除を行ってください。

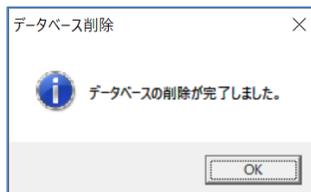


「いいえ」をクリックすると削除の確認メッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると、削除を実行します。



削除が終了すると、完了のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、データベース削除画面に戻ります。キャンセルをクリックし、画面を終了してください。

手順2 プログラム[電債の達人]の削除

1.Windows のスタートボタンより、[Windows システムツール]-[コントロールパネル]を選択します。

2.コントロールパネルの[プログラムのアンインストール]を選択します。



3.プログラムと機能の画面が開きます。

プログラムの一覧より、「電債の達人
スタンドアロン」を選択し

[アンインストール]ボタンをクリック
します。



4.確認メッセージが表示されますので

「はい」をクリックします。



◎ユーザーアカウント制御 (UAC) の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。

削除を開始します。



削除が終了したら、[プログラムと機能]の画面に戻ります。

手順3 SQL Server の削除

当システムで作成した SQL Server のインスタンスを削除します。

必要に応じてご参照ください。

注意！必要な会社データは、事前に[データ管理]-[会社データ保存]メニューでバックアップデータを作成してください。

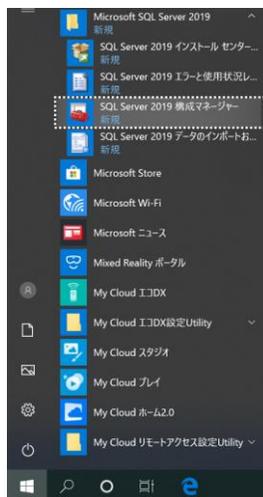
1. SQL Server 構成マネージャーの起動

Windows のスタートボタンより

[Microsoft SQL Server 2019]-

[Microsoft SQL Server 2019 構成マネージャー]を右クリックし、[その他]-「管理者として実行」を選択します。

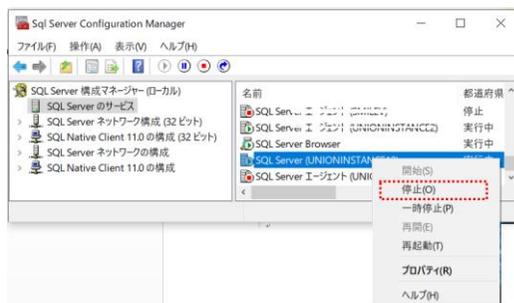
◎ユーザーアカウント制御 (UAC) の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。



2. サービスの停止

SQL Server Configuration Manager 画面が表示されますので、「SQL Server のサービス」を選択します

SQL Server (UNIONINSTANCE19) を右クリックし、[停止] を選択します



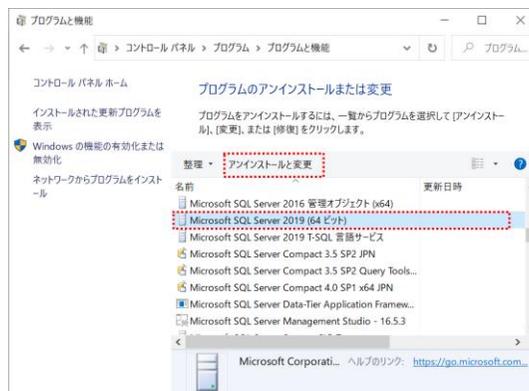
停止が確認できたら、「×」ボタンをクリックし画面を終了します。

Windows のスタートボタンより、[Windows システムツール]-[コントロールパネル]を選択します。

3.コントロールパネルの[プログラムのアンインストール]を選択します。



[プログラムと機能] 画面から、「Microsoft SQL Server 2014」を選択し、[アンインストールと変更] ボタンをクリックします。



注意！

必ず「Microsoft SQL Server 2019」を選択してください。

これ以外を選択した場合は、SQL Server を正常に削除できません。

選択画面が開きますので、[削除]を選択します。

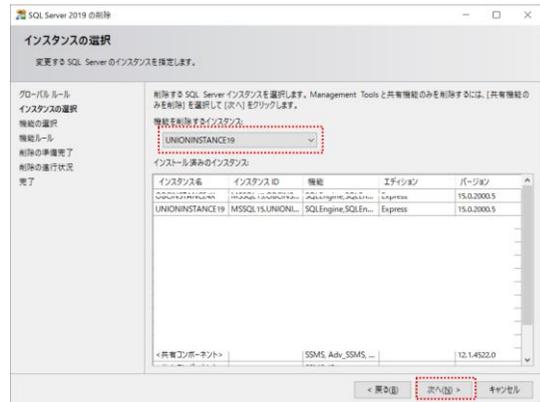


4. インスタンスの選択

機能を削除するインスタンスで、
「UNIONINSTANCE19」を選択し、
「次へ」をクリックします。

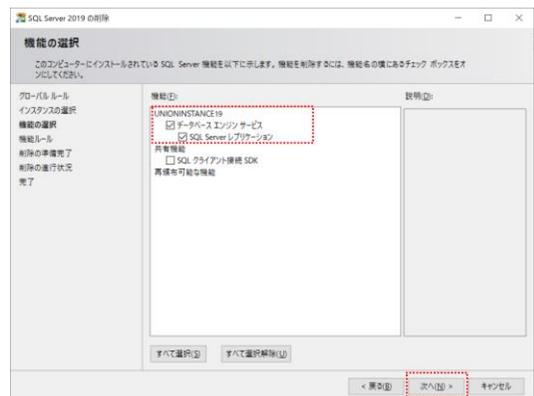
注意！

UNIONINSTANCE19 以外のインスタンスは削除しないでください。他のアプリケーションが起動しなくなるおそれがあります。



5. 機能の選択

機能の UNIONINSTANCE19 下の
「データベースエンジンサービス」に
チェックを付けます。
同時に SQL Server レプリケーションにも
チェックが付きます。
チェックを付けたら、「次へ」をクリック
します。

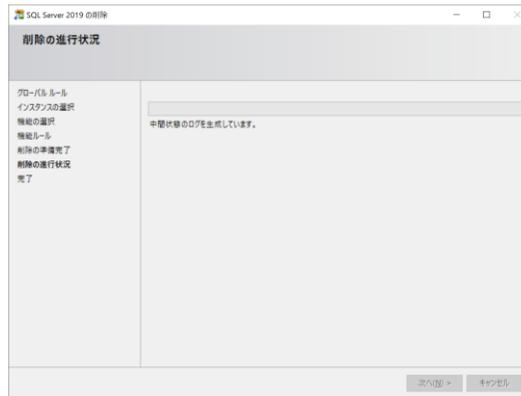


6. 削除の準備完了

内容を確認し[削除]ボタンをクリック
します。[削除]ボタンをクリックすると
機能の削除がはじまります。



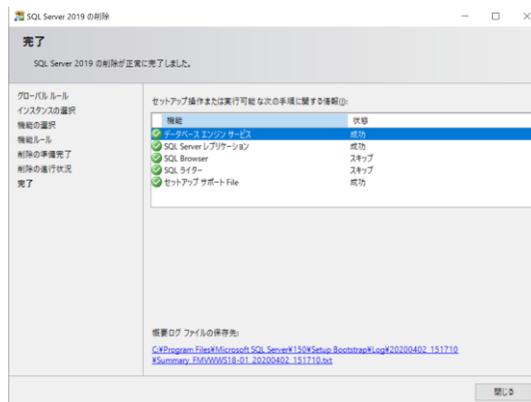
削除の進行状況が表示されます。
終了までそのままお待ちください。



7.完了

すべての機能の削除が終了したら、完了画面が表示されます。

エラーがないことを確認し、[閉じる] ボタンをクリックします。



以上で、SQL Server の削除が完了しました。

第 2 章 LANPACK セットアップ

目次

[1]	LANPACK セットアップの流れ	3-1-1
[2]	サーバーセットアップ	3-2-1
[3]	クライアントセットアップ	3-3-1
[4]	削除方法	3-4-1

LANPACK版では、サーバーとなるコンピュータに、データベースエンジンである Microsoft SQL Server のセットアップと、当システムのサーバー用プログラムのセットアップを行います。また、実際に操作を行うクライアント用コンピュータごとに、当システムのクライアントセットアップと、3種類の作業が必要です。

< サーバーセットアップ >

- ・環境構築 DVD をサーバー用コンピュータにセットし、SQL Server をセットアップします。
- ・また当システムのプログラム DVD より、サーバーセットアップを実行し、サーバープログラムをセットアップするとともに、当システムのデータベースの構築を行います。

< クライアントセットアップ >

- ・クライアント用コンピュータに当システムのプログラムをセットアップし、クライアント用コンピュータで当システムを運用できるようにします。

セットアップに利用する DVD

当システムには、以下の DVD が同梱されています。ご購入いただいた製品によって、同梱されている DVD の数が異なりますので、ご確認ください。

●電債の達人 LANPACK をご購入いただいた場合

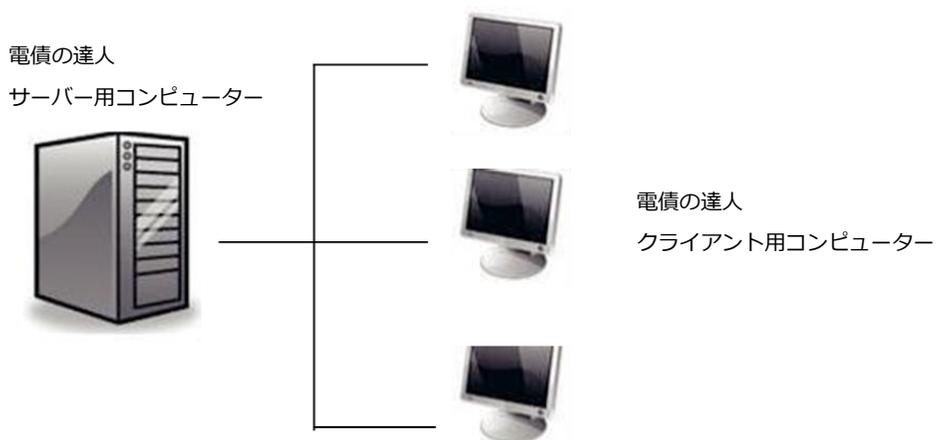
①サーバー環境構築 DVD 1 枚

→サーバー用コンピュータに、SQL Server をセットアップし、サーバー環境を構築します。

②電債の達人プログラム DVD 1 枚

→サーバー用コンピュータ・クライアント用コンピュータに当システムのプログラムをセットアップします。

計 2 枚



*サーバーセットアップ

手順 1・・・SQL Server のセットアップ

はじめて当製品のサーバーセットアップを行う場合は、①「サーバー環境構築 DVD を使用して SQL Server をセットアップします。

手順 2・・・サーバープログラムのセットアップ当製品のプログラム DVD ②を使用して、サーバー用コンピュータに当システムのサーバー用プログラムをセットアップします。

手順 3・・・初期データベースの作成

当システムを起動し、初期データベースの作成を行います。

*クライアントセットアップ

手順 4・・・クライアント用プログラムのセットアップ当システムのプログラム DVD ②を使用し、クライアント用コンピュータにクライアントプログラムをセットアップします。

セットアップ前の注意点 ※事前にご確認ください。

SQL Server、ドメインコントローラ（ドメイン環境の場合）、クライアント用コンピュータ、プリンタ等の環境をご確認ください。

処理速度を上げるためには、コンピュータのメモリやマシン、ハードディスクの性能もご考慮ください。

また、データ量が増えることが予測される場合には、ハードディスクの空き容量も十分に確保してください。

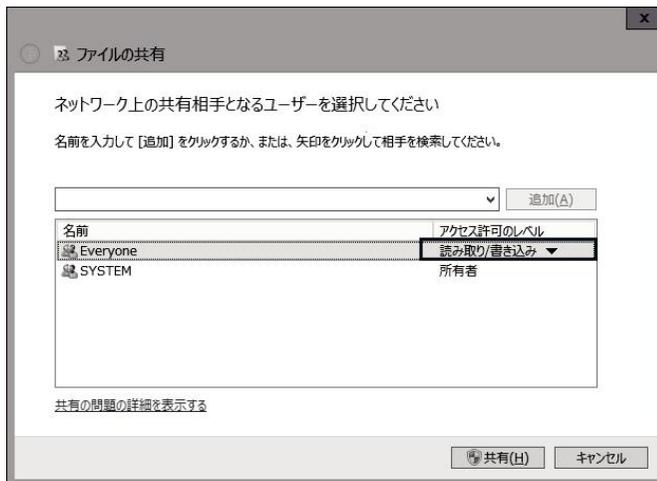
- セットアップは Administrator（または権限のユーザー）で行ってください。
- セットアップする前に、他のアプリケーションを終了してください。
- スクリーンセーバーやアンチウィルスプログラム、その他常駐しているアプリケーションソフトがある場合は、それらのプログラムを停止、終了する必要があります。

※アンチウィルスプログラムの無効や停止、終了方法は各製造元へお問い合わせください。

◎LANPACK のクライアント機で会社データの新規作成・バックアップ・復元する際の注意事項

- ・クライアント機より会社データの新規作成・バックアップ及び復元を行うためには、サーバー機の「Union」フォルダが共有されている必要があります。
- ・クライアント機より会社データの新規作成バックアップ及び復元を行うためには、サーバー機の「Union-TegataV8-Temp」フォルダに対して、クライアントのログインユーザーが書き込み、削除できる権限が必要です。

Union フォルダの共有時、バックアップ・復元を行うクライアント機のログインユーザーに対して、書き込み・読み込み・削除の権限を設定してください。



共有設定を行う際、「アクセス許可のレベル」の設定をご確認ください。

×読み取り ○読み取り / 書き込み

◎セットアップ後に作成されたフォルダやプログラムは、変更・移動しないでください。当システムが正常に起動できなくなります。

◎セットアップ先は、必ずローカルディスク上を指定してください。

□セットアップ操作の流れ

サーバー・セットアップ

- * SQL Server のセットアップ
- * サーバープログラムセットアップ

SQL Server 用のコンピュータに対してセットアップを行います。

※すでに、SQL Server がセットアップされている場合は、サーバープログラムのセットアップから開始します。

SQL Server のセットアップ ⇒ 3-2-2

サーバープログラムのセットアップ ⇒ 3-2-5

↓

初期データベースの作成 (サーバー機)

初期データの作成 ⇒ 3-2-9

サーバープログラムセットアップの終了後、初期データを作成します。

↓

クライアントセットアップ

- * クライアントプログラムセットアップ
- * 利用者登録

クライアントプログラムのセットアップ

⇒ 3-3-1

全てのクライアント用コンピュータに対してクライアントプログラムをセットアップします。

LANPACK 製品の利用者を弊社製品上に登録します。利用者の処理を制限する場合は、LANPACK 製品の管理者がはじめに権限の登録も行ってください。

↓

取引先など、マスター項目の登録

↓

業務の開始

手形や電子記録債権などデータの入力を行います。

SQL Server セットアップ前の確認事項

 セットアップに必要なソフトウェア

- .NET Framework 4.5.2 以降

- .NET Framework 3.5 Service Pack 1

※上記のソフトウェアがインストールされていない場合は、SQL Server を正常にセットアップできません。

※当製品の環境構築 DVD 内に、「.NET Framework 4.5.2 」が収録されています。

1-2 [必要ソフトウェアのインストール方法] を参照し、セットアップを行ってください。

当システムのインストール開始時に以下のメッセージ画面が表示された場合は、当システムのプログラム DVD に収録している各ソフトのインストールが必要です。

※ 1-2 [必要ソフトウェアのインストール方法] を参照し、必要システムをインストールしてください。

手順1 SQL Server のセットアップ

当製品に同梱されている環境構築 DVD より SQL Server をセットアップします。

当システムをセットアップするサーバー用コンピューターに、管理者グループのユーザーでログインします。

1. .NET Framework 3.5 の有効化

当システムの環境構築ディスクを DVD

ドライブに挿入し、[Setup.exe の実行]

を選択した際に、右図のようなメッセージ

が表示されたら、画面を終了し、サーバー

マネージャーより、.NET Framework 3.5

の有効化を行ってください。



◎

サーバーマネージャーを起動し、[管理]を

をクリックし、表示されたメニューの

[役割と機能の追加]を選択します。



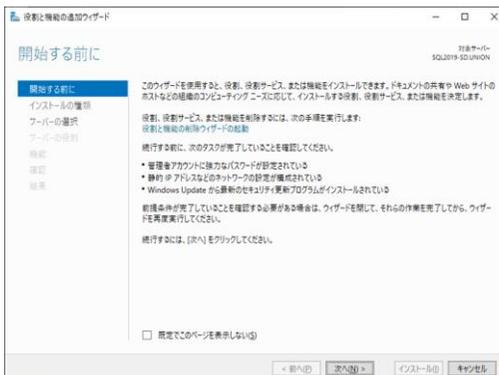
サーバー用コンピューターがインターネットに接続できる場合は、下記の手順で有効化を実施してくだ

さい。インターネットに接続されていない場合は、弊社サポートセンターへご連絡ください。

「役割と機能の追加ウィザード」が開きます。

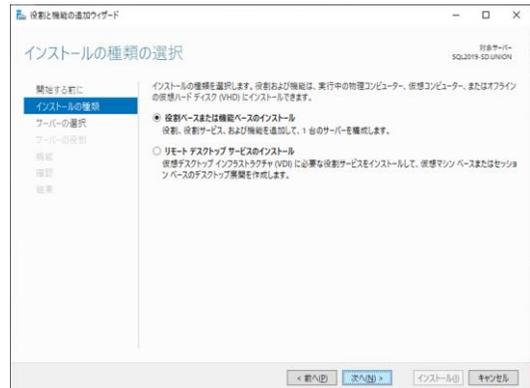
- 開始する前に

そのまま、「次へ」をクリックします。



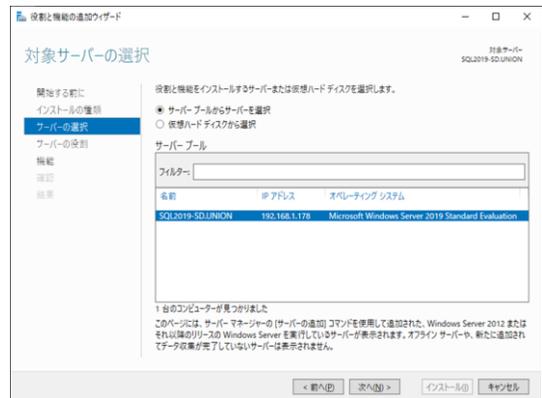
・インストールの種類

役割ベースまたは機能ベースのインストールを選択した状態で「次へ」をクリックします。



・対象サーバーの選択

サーバープールからのサーバーを選択して SQL2019-SD.UNION を選択し、「次へ」をクリックします。



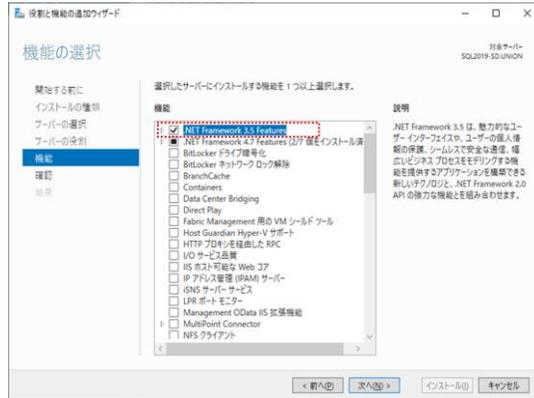
・サーバーの役割の選択

この画面は、そのまま「次へ」をクリックし先に進みます。



・機能の選択

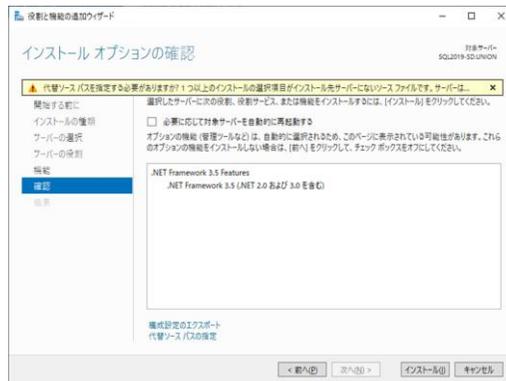
「.NET Framework 3.5 Features」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



・インストールオプションの確認

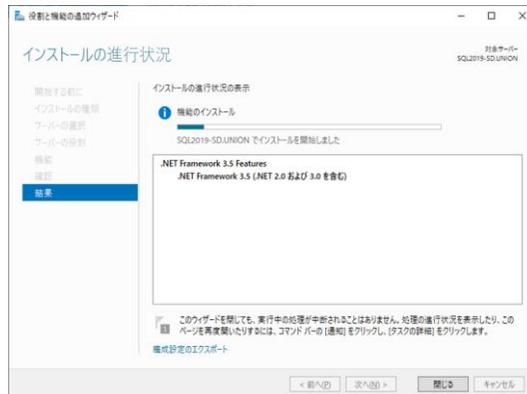
確認画面が開きます。

「.NET Framework 3.5 Features」が表示されていることを確認し、「インストール」をクリックします。



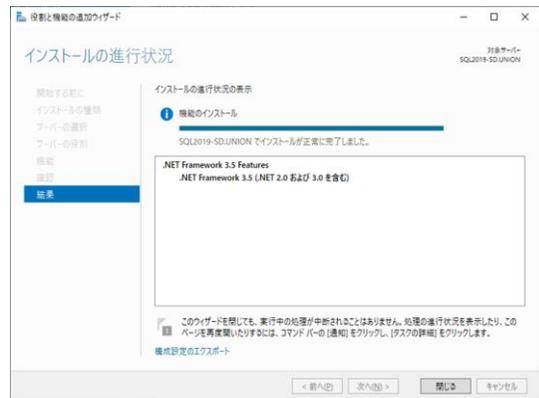
・インストールが開始されます。

そのままお待ちください。



- 結果

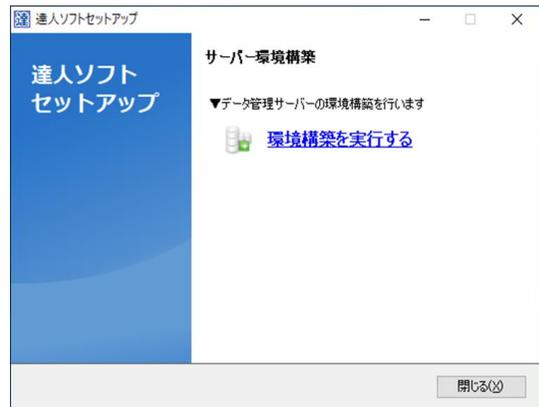
進行状況が結果まで進み「正常に完了しました。」と画面に表示されたら、「閉じる」をクリックします。



2. サーバ環境構築の実行

環境構築ディスクを DVD ドライブに挿入し、Setup.exe を実行すると、達人セットアップの画面が開きます。

[環境構築を実行する]をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

「はい」をクリックし、SQL Server2019 のインストールを開始します。



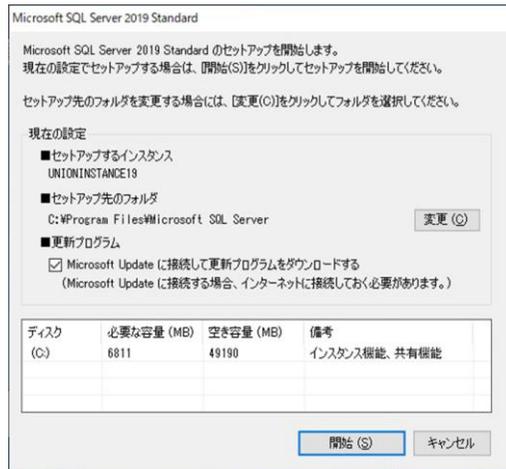
3. セットアップ先の指定

SQL Server のセットアップ方法を指定し
[開始]ボタンをクリックします。

※セットアップ先初期値

C:\ProgramFiles\MicrosoftSQL
Server

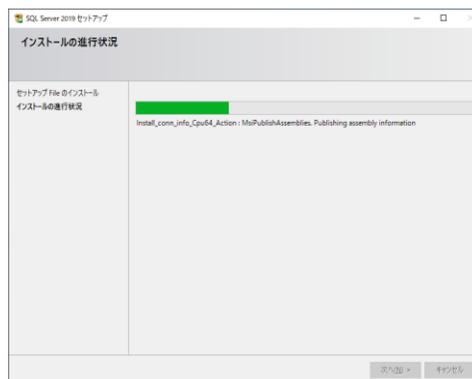
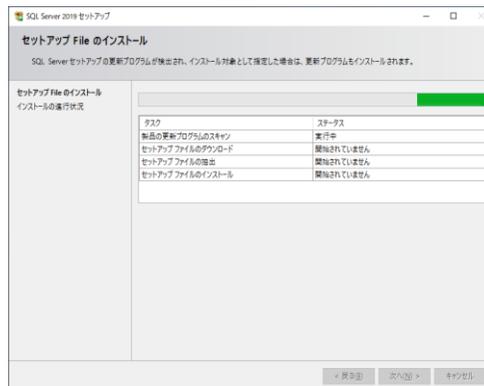
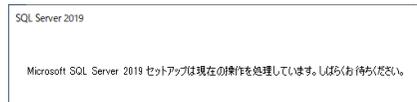
表示されているセットアップ先を変更する
場合は、[変更]ボタンをクリックします。



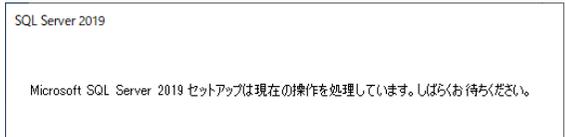
4. インストールの開始

画面が順番に遷移します。そのままお待ち
ください。

* 画面遷移

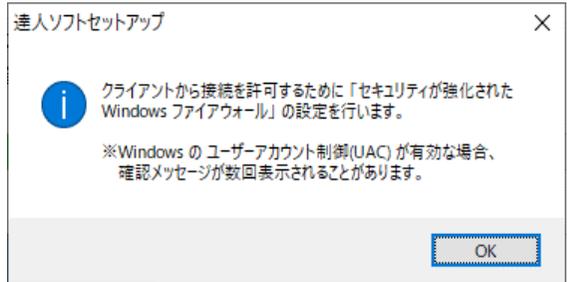


* 画面遷移



5. ファイアーウォール設定

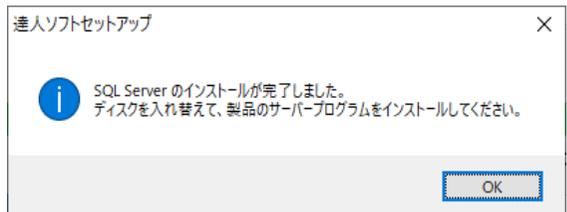
※SQL Server のインストールが正常に終了すると、ファイアーウォール設定の確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



◎ファイアーウォールの確認メッセージを「OK」で進むと、Windows のユーザーアカウント制御の確認メッセージが何回か表示されます。その都度「はい」をクリックし、作業を進めてください。

6. インストール完了

SQL Server のインストールが完了すると確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



DVD-ROM ドライブのディスクを、当システムのプログラムディスクへ入れ替え、サーバープログラムのセットアップを行ってください。

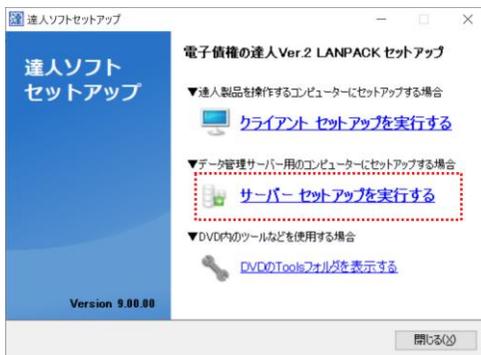
手順2 サーバ用プログラムのセットアップ

当システムのサーバプログラムをセットアップします。

1.サーバセットアップを実行する

当システムのプログラムディスクをDVD-ROM ドライブに挿入し、「Setup.exe を実行する」を選択すると、「達人セットアップ」画面が表示されます。

「サーバセットアップを実行する」をクリックします。

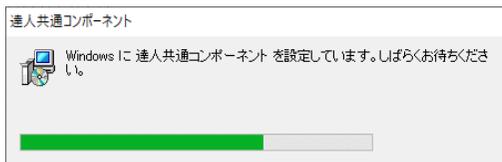


2. SQL Server 旧バージョンとの互換性の

インストールを実行します。
そのままお待ちください。

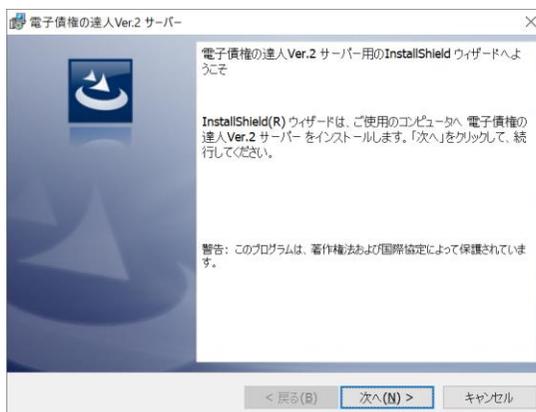


引き続き、達人共通コンポーネントのインストールを行います。



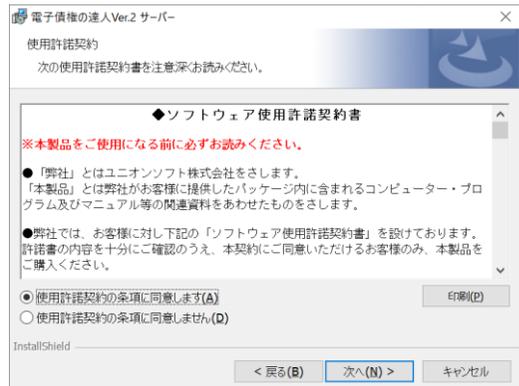
3.セットアップウィザード

「次へ」をクリックします。



4. 使用許諾契約書

内容を確認し、「使用許諾契約書に同意します。」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



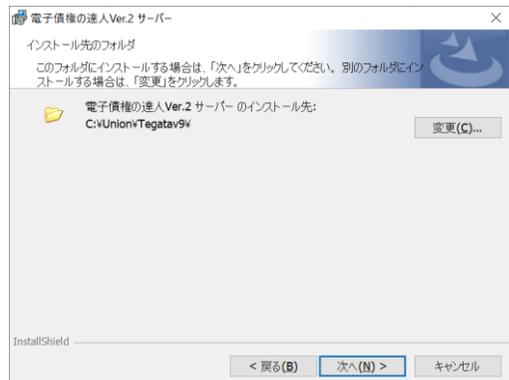
5. セットアップ先の指定

プログラムのセットアップ先を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。

初期値

C:\¥Union¥Tegatav9¥

表示されているセットアップ先を変更する場合は、「変更」ボタンをクリックし、変更してください。

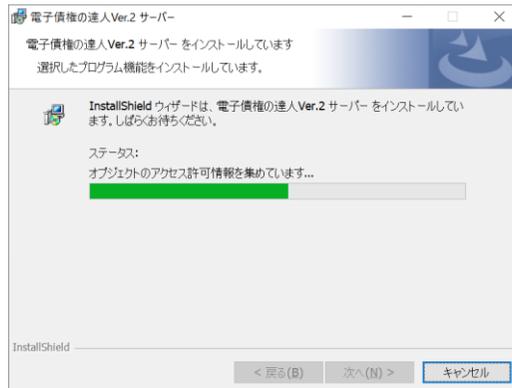


6. インストールの開始

[インストール]ボタンをクリックするとインストールを開始します。



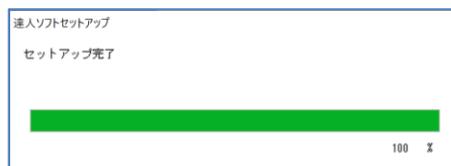
インストールを実行しています。
そのままお待ちください。



7. インストールの完了

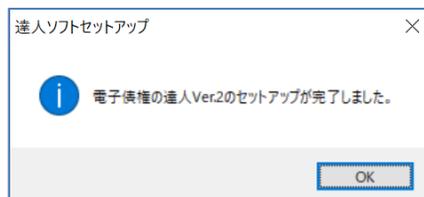


[完了]をクリックします。



8. セットアップ完了

セットアップ完了のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、達人セットアップ画面に戻ります。

セットアップが終了したら、当システムを起動し初期データベース作成を行ってください。

手順3 初期データベースの作成

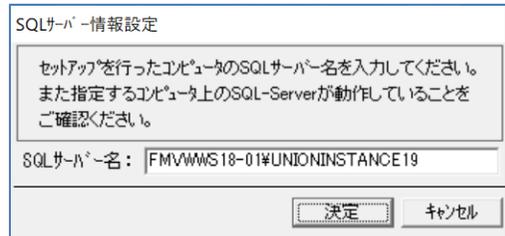
サーバプログラムのインストールが終了したら、引き続き当システムを起動し、サーバ情報の設定と初期データベースの作成を行います。

1. 当システムの起動と SQL Server 接続設定

当システムのサーバプログラムを起動します。初回起動時に、SQL Server 接続設定画面が開きますので、接続する SQL Server 名を指定し[決定]をクリックします。

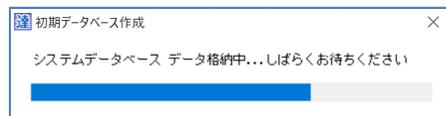
※初期値 (PC 名) ¥UNIONINSTANCE19

通常はそのまま[決定]をクリックして問題ありません。当システムの環境構築 DVD ではなく自社で用意した SQL Server に接続する場合は、インスタンス名を変更してください。



2. 初期データベースの作成

初期データベースの作成を開始します。そのままお待ちください。



3. 初期データベース作成が終了すると、右図のようなメッセージが表示されます。

「OK」をクリックすると、当システムのメインメニューが表示されます。



サーバー用コンピューターに当システムのサーバー用プログラムのセットアップが終了したら、各クライアント用コンピューターにクライアント用プログラムのセットアップを行います

セットアップ前の注意点

- * セットアップは、システムファイルや共有ファイルが使用中の時には、そのファイルの追加や更新ができません。セットアップを行う前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。

- * スクリーンセーバーやアンチウイルスプログラム、その他常駐しているアプリケーションソフトがある場合は、それらのプログラムを無効や停止、終了する必要があります。※アンチウイルスプログラムの無効や停止、終了方法は各製造元へお問い合わせください。

- * 当システムを使用するすべてのクライアント用コンピューターに対して、クライアントプログラムセットアップを行なってください。

注意！

セットアップ後に作成されたフォルダやプログラムは、変更・移動しないでください。

当システムが正常に起動できなくなります。

セットアップ先は、必ずローカルディスク上を指定してください

LANPACK クライアントプログラムのセットアップ

当システムをセットアップするクライアント用コンピュータに Administrator（または Administrator 権限を持つユーザーアカウント）でログオンします。

1. DVD-ROM ドライブに当システムの

「プログラム DVD」をセットし、
「Setup.exe の実行」をクリックします。

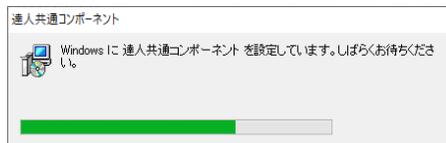


2. セットアッププログラムの実行

達人セットアップ画面が開いたら、
[クライアントセットアップを実行する]
をクリックします。



共通コンポーネント等のインストールが
終了するまでそのままお待ちください。



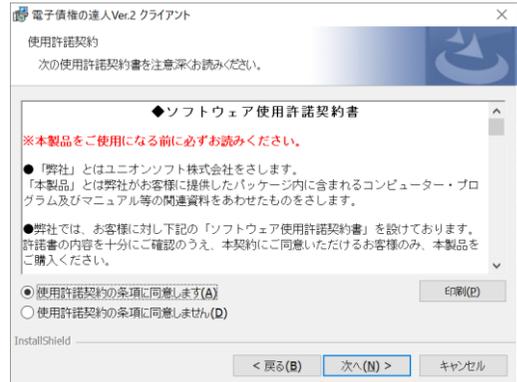
3. セットアップウィザード

セットアップウィザード画面が開きます。
「次へ」をクリックします。



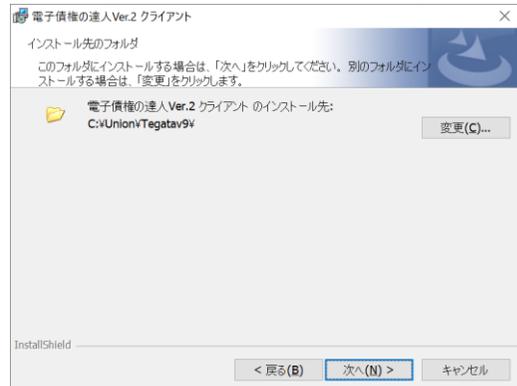
4. 使用許諾契約

内容を確認し、「使用許諾契約書に同意します。」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



5. インストール先のフォルダ

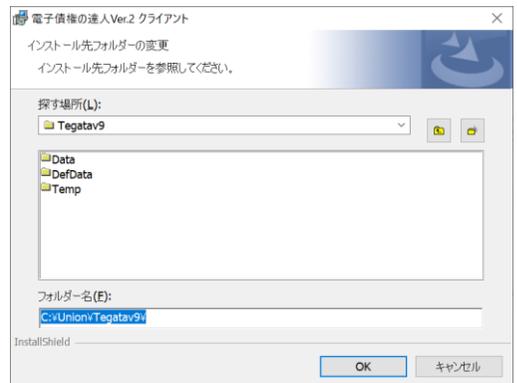
プログラムのセットアップ先を指定し、「次へ」をクリックします。
初期値 C:¥Union¥Tegatav9
表示されているセットアップ先を変更する場合は、[変更] ボタンをクリックします。



※インストール先フォルダの変更

[変更] ボタンをクリックするとインストール先フォルダの変更画面が開きます。

セットアップ先を C ドライブではなく D ドライブにしたい場合は、フォルダ名欄の C:¥Union¥Tegatav8 を「 D:¥Union¥Tegatav8 」のようにドライブ名のみを変更します。



あらかじめ、作成済のフォルダを指定する場合は、探す場所欄の▼をクリックし、セットアップを行うドライブ・フォルダを選択します

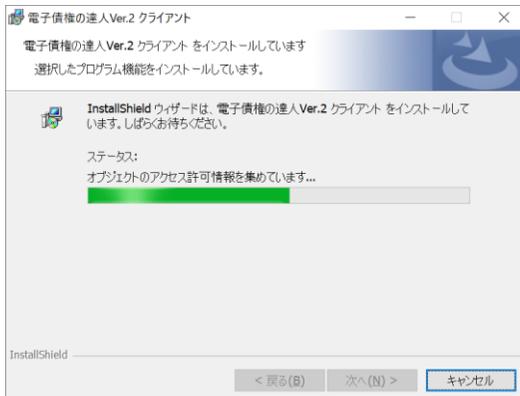
注意！ [変更] ボタンをクリックし、他のドライブのみを選択した状態（D:¥ などの表示）でインストールすると、当システムが正常に動作しない可能性があります

6. インストール

[インストール]ボタンをクリックします。



インストールを開始します。
そのままお待ちください。

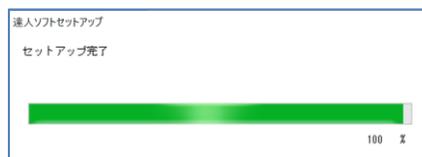


7. インストールの完了

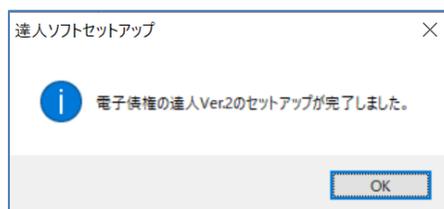
[閉じる] ボタンをクリックします。



[閉じる]をクリックすると、引き続き「仕訳連動コンポーネント」のインストールを行います。
そのまま、お待ちください。



セットアップ完了のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると「達人ソフトセットアップ」画面に戻ります。
[OK] ボタンをクリックします



1. 削除の概要

◆ 削除の手順

・ サーバー用コンピュータからの削除

手順 1 データの削除	3-4-2
↓	当システムで使用しているデータベースを削除します。
手順 2 プログラムの削除	3-4-4
↓	当システムのプログラムを削除します。
手順 3 SQL Server の削除	3-4-5
	当製品で利用している SQL Server を削除します。

※ SQL Server のインスタンスを、当システム以外のアプリケーションが利用している場合は、データ削除や SQL Server の削除は行わないでください。

注意！

データの削除や SQL Server の削除をする場合は、必ず[データ管理]-[会社データ保存] メニューで、すべての領域のバックアップデータを作成しておいてください。

バックアップデータがない場合は、一度削除したデータをもとに戻すことができません

・ クライアントコンピュータからの削除

手順 4 プログラムの削除	3-4-9
	当システムのプログラムを削除します。

2. システム削除の注意点

* アンインストールは、管理者グループのメンバーで行ってください。

* 念のため、[データ管理]-[会社データ保存] メニューで、すべての領域のバックアップデータを作成しておいてください。

* 当システムが起動していないことを確認してから、プログラムの削除を行ってください。

* 手形発行を利用している場合は、自社用に作成した手形フォームもすべてバックアップを作成してください。（メニュー：[導入処理]-[フォーム設計]-[手形フォーム設計]）

手順1 データの削除

初期データベースを含め、当システムで使用しているすべてのデータベースを削除します。

※再インストールを行う場合などで、データベースを引き続き使用する場合は、データベースの削除は必要ありません。

注意！

データベースを削除した場合、いままで使用していた会社データをもとに戻すことはできません。

念のため、[データ管理]-[会社データ保存] メニューで、すべての領域のバックアップデータを作成後に、この操作を行ってください。

1. データ削除ツールの起動

Windows のスタートボタンより[電債の達人]-[電債の達人システムツール]を起動します。

システムツールの[データベースを削除する]をクリックします。



2. データ削除

当システムで使用しているすべてのデータ領域が表示されます。[削除] ボタンをクリックします。

* 個別にデータ領域を指定することはできません。一括で削除を行います。



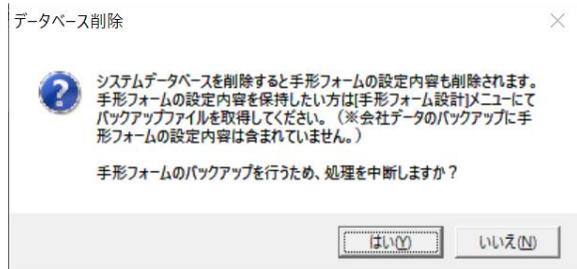
[削除]をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

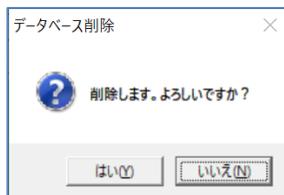
※手形フォームのバックアップがまだの場合、この時点で「はい」をクリックし、削除処理を中断してください。

手形フォームのバックアップ後削除を行ってください。

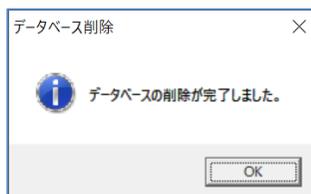
「いいえ」をクリックすると削除の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、削除を実行します。



削除が終了すると、完了のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、データベース削除画面に戻ります。キャンセルをクリックし、画面を終了してください。

手順2 当システム サーバプログラムの削除

当システムのサーバプログラムを削除します。

1.Windows のスタートボタンより、[Windows システムツール]-[コントロールパネル]を選択します。

2.コントロールパネルの[プログラムのアンインストール]を選択します。



3.プログラムと機能の画面が開きます。

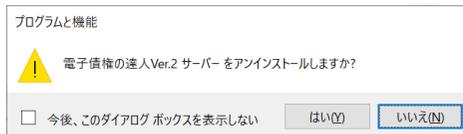
プログラムの一覧より、「電子債権の達人サーバ」を選択し

[アンインストール]ボタンをクリックします。



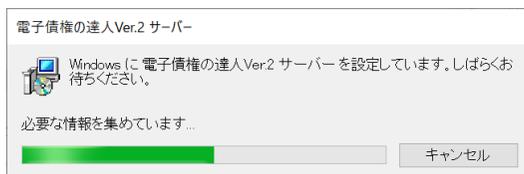
4.確認メッセージが表示されますので

「はい」をクリックします。



◎ユーザーアカウント制御 (UAC) の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。

削除を開始します



削除が終了したら、[プログラムと機能]の画面に戻ります。

手順3 SQL Server の削除

当システムで作成した SQL Server のインスタンスを削除します。

必要に応じてご参照ください。

注意！必要な会社データは、事前に[データ管理]-[会社データ保存]メニューでバックアップデータを作成してください。

1. SQL Server 構成マネージャーの起動

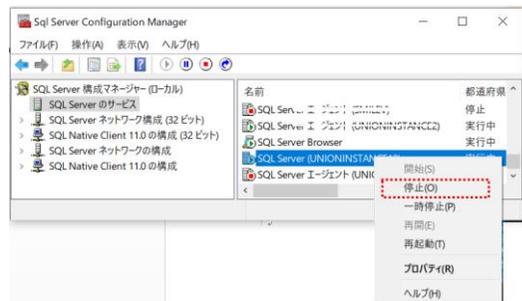
Windows のスタートボタンより[Microsoft SQL Server 2019]-[Microsoft SQL Server 2019 構成マネージャー]を右クリックし、[その他]-「管理者として実行」を選択します。

◎ユーザーアカウント制御 (UAC) の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。

2. サービスの停止

SQL Server Configuration Manager 画面が表示されますので「SQL Server のサービス」を選択します

SQL Server (UNIONINSTANCE19) を右クリックし、[停止] を選択します



停止が確認できたら、「×」ボタンをクリックし画面を終了します。

Windows のスタートボタンより、[Windows システムツール]-[コントロールパネル]を選択します。

3.コントロールパネルの[プログラムのアンインストール]を選択します。



[プログラムと機能] 画面から、「Microsoft SQL Server 2014」を選択し、[アンインストールと変更] ボタンをクリックします。



注意！

必ず「Microsoft SQL Server 2019」を選択してください。

これ以外を選択した場合は、SQL Server を正常に削除できません。

選択画面が開きますので、[削除]を選択します。

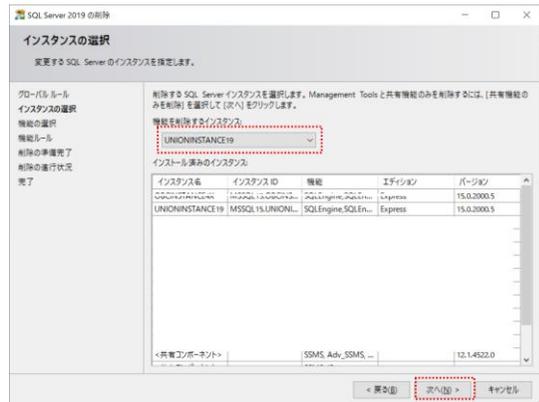


4. インスタンスの選択

機能を削除するインスタンスで、「UNIONINSTANCE19」を選択し、「次へ」をクリックします。

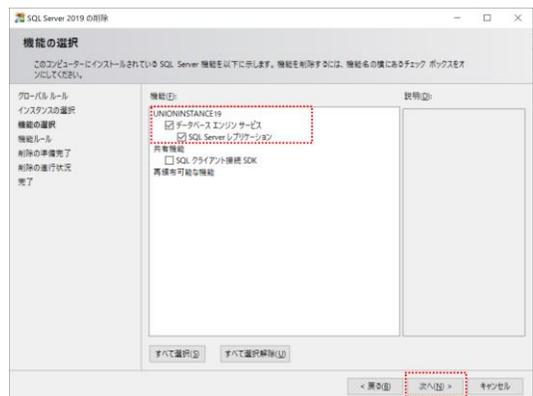
注意！

UNIONINSTANCE19 以外のインスタンスは削除しないでください。他のアプリケーションが起動しなくなるおそれがあります。



5. 機能の選択

機能の UNIONINSTANCE19 下の「データベースエンジンサービス」にチェックを付けます。同時に SQL Server レプリケーションにもチェックが付きます。チェックを付けたら、「次へ」をクリックします。

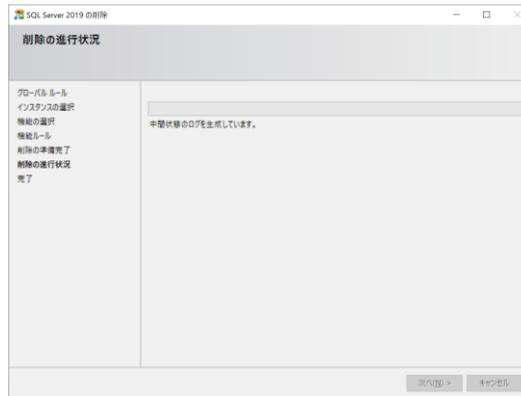


6. 削除の準備完了

内容を確認し[削除]ボタンをクリックします。[削除]ボタンをクリックすると機能の削除がはじまります。



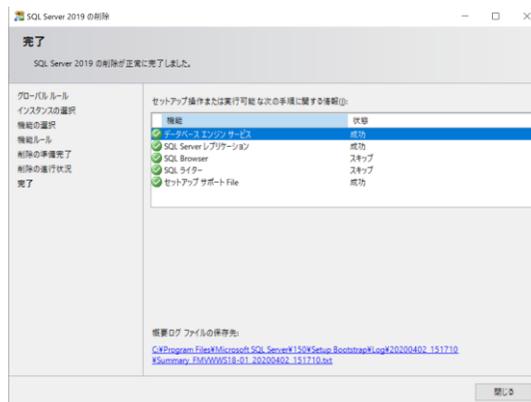
削除の進行状況が表示されます。
終了までそのままお待ちください。



7.完了

すべての機能の削除が終了したら、完了画面が表示されます。

エラーがないことを確認し、[閉じる] ボタンをクリックします。



以上で、SQL Server の削除が完了しました。

手順4 当システム クライアントプログラムの削除

当システムのクライアントプログラムを削除します。

1.Windows のスタートボタンより、[Windows システムツール]-[コントロールパネル]を選択します。

2.コントロールパネルの[プログラムのアンインストール]を選択します。



3.プログラムと機能の画面が開きます。

プログラムの一覧より、「電子債権の達人クライアント」を選択し
[アンインストール]ボタンをクリック
します。



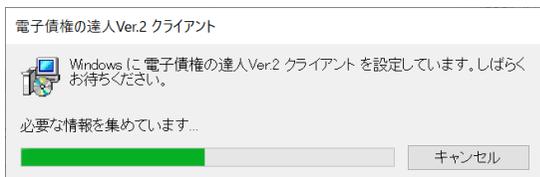
4.確認メッセージが表示されますので

「はい」をクリックします。



◎ユーザーアカウント制御 (UAC) の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。

削除を開始します



削除が終了したら、[プログラムと機能]の画面に戻ります。

第 4 章 ライセンス認証 目次

[1] ライセンス認証

4-1-1

電債の達人では、初回起動時に当社から提供されたライセンスキーを入力し、認証を行う必要があります。ここで入力されたライセンスキーによって、製品の有効期間およびランク（Premium/Standard/Basic）を判断します。

有効期間の更新もしくはランクの変更が発生した場合は、ライセンスキーの更新が必要です。

<ライセンスキーの初回認証>

電債の達人の初回起動時、以下の認証画面が表示されます。

【ライセンスキー認証】	当社から提供されたライセンスキーを入力します。
[認証]ボタン	ライセンスキーを入力したら押下し、認証を実行します。
[閉じる]ボタン	「ライセンスキー認証」画面を閉じます。

入力したライセンスキーが正しく認証されると、電債の達人のメインメニューが表示されます。

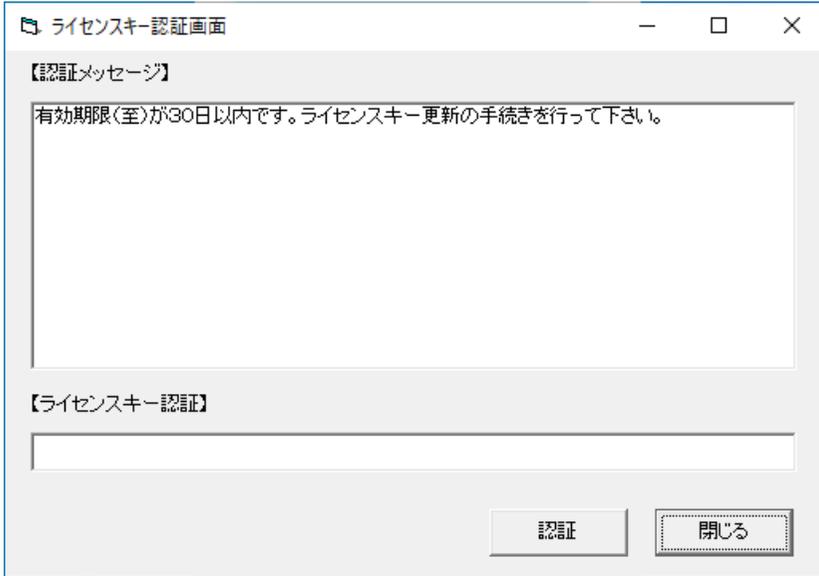
※正しくないライセンスキーが入力された場合、認証メッセージは「ライセンスキーの複合化処理でエラーが発生しました。ライセンスキーが正しいか確認してください。」となります。

ライセンスキーを確認し、再入力して認証を行ってください。

<ライセンスキーの更新（製品起動時）>

*有効期間(至)が間近の場合

ライセンスキーの有効期間(至)が 30 日以内になると、製品起動時に以下の画面が表示されます。



【ライセンスキー認証】	当社から提供された最新のライセンスキーを入力します。
[認証]ボタン	ライセンスキーを入力したら押し、認証を実行します。
[閉じる]ボタン	「ライセンスキー認証」画面を閉じ、メインメニューを表示します。

電債の達人を継続してご利用される場合、【ライセンスキー認証】に当社から提供された最新のライセンスキーを入力して認証し、有効期間の更新を行ってください。

※ [閉じる]ボタンを押下した場合は、認証を行わずそのままメインメニューを表示することができますが、電債の達人を継続してご利用される場合は 30 日以内に最新のライセンスキーでの認証が必須です。

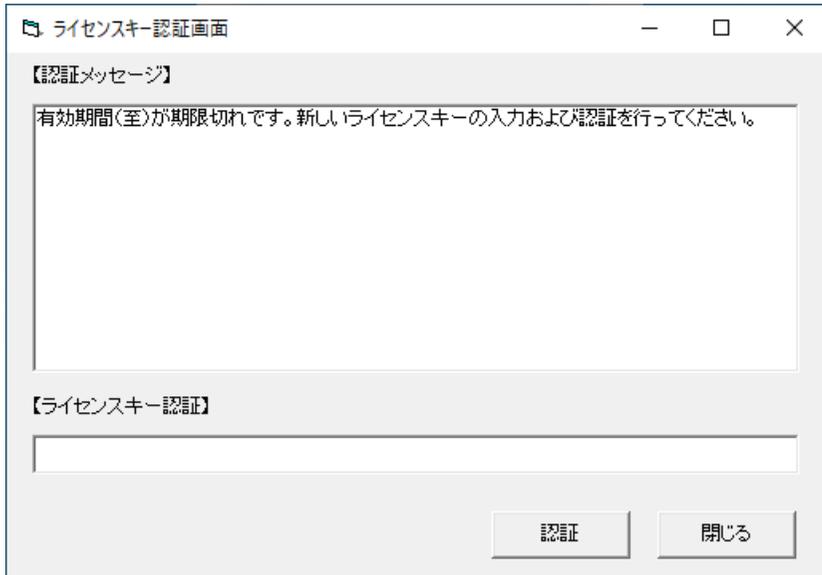
【参考】

有効期間(至)が 30 日よりも前にライセンスキーの更新を行いたい場合は、システムツールからの更新になります。

その際の手順は<ライセンスキーの更新（システムツール）>を参照してください。

*有効期間(至)が過ぎている場合

ライセンスキーの有効期間(至)が過ぎている場合、製品起動時に以下の画面が表示されます。



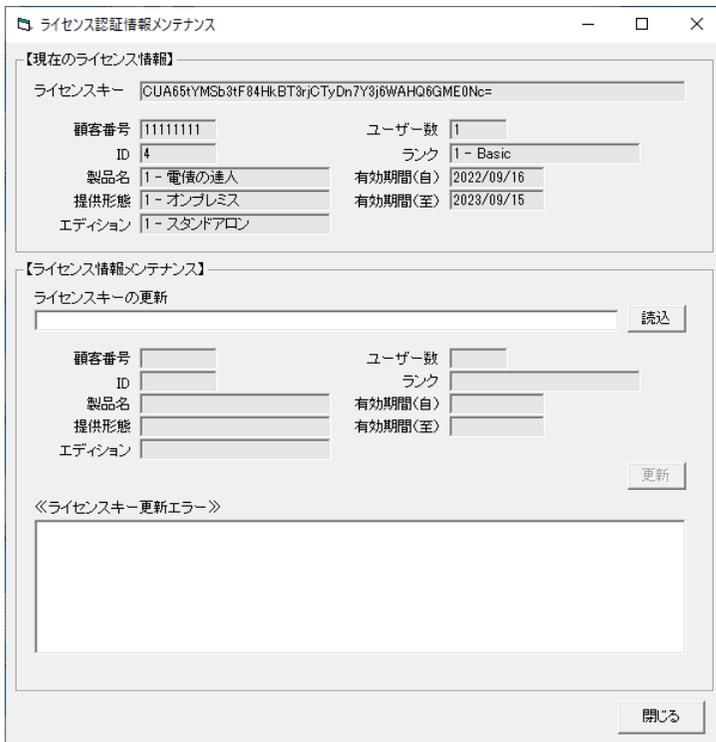
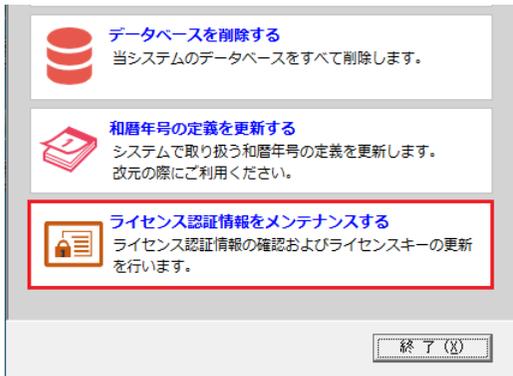
【ライセンスキー認証】	当社から提供された最新のライセンスキーを入力します。
[認証]ボタン	ライセンスキーを入力したら押下し、認証を実行します。
[閉じる]ボタン	「ライセンスキー認証」画面を閉じます。

電債の達人を継続してご利用される場合、【ライセンスキー認証】に当社から提供された最新のライセンスキーを入力して認証し、有効期間の更新を行ってください。

<ライセンスキーの更新（システムツール）>

ライセンスキーの有効期間(至)が 30 日よりも前、もしくは製品のランク (Premium/Standard/Basic) の更新を行いたい場合、システムツールからの更新を行ってください。

Windows のスタートより[電債の達人システムツール]を起動し、「ライセンス認証情報をメンテナンスする」を選択します。



【現在のライセンス情報】に、現在電債の達人に指定しているライセンスキーの詳細情報が表示されます。

【ライセンス情報メンテナンス】の「ライセンスキーの更新」に、当社から提供された最新のライセンスキーを入力し、[読込]ボタンを押下します。

提供形態	1 - オンプレミス	有効期間(至)	2023/09/15
エディション	1 - スタンドアロン		

【ライセンス情報メンテナンス】

ライセンスキーの更新

[VLmD9G7rdQ99zfRL3XLvmCiGiIvQjWpU21RE3SGWiQ=]

顧客番号		ユーザー数	
ID		ランク	
製品名		有効期間(自)	
提供形態		有効期間(至)	
エディション			

<<ライセンスキー更新エラー>>

[読込]を押下すると、新しいライセンスキーの詳細情報が以下に表示されます。

ランク/有効期間等が最新の情報になっていることを確認し、[更新]ボタンを押下します。

提供形態	1 - オンプレミス	有効期間(至)	2023/09/15
エディション	1 - スタンドアロン		

【ライセンス情報メンテナンス】

ライセンスキーの更新

[VLmD9G7rdQ99zfRL3XLvmCiGiIvQjWpU21RE3SGWiQ=]

顧客番号	11111111	ユーザー数	1
ID	13	ランク	1 - Basic
製品名	1 - 電債の達人	有効期間(自)	2023/09/16
提供形態	1 - オンプレミス	有効期間(至)	2024/09/15
エディション	1 - スタンドアロン		

<<ライセンスキー更新エラー>>

正常に更新された場合は「更新完了」のメッセージが表示されます。



※入力したライセンスキー情報に問題があった場合は、《ライセンスキー更新エラー》にその旨の内容が表示されます。内容を確認し、正しいライセンスキーを入力して更新を再試行してください。

提供形態	1 - オンプレミス	有効期間(至)	2023/09/15
エディション	1 - スタンドアロン		

【ライセンス情報メンテナンス】

ライセンスキーの更新

顧客番号	<input type="text"/>	ユーザー数	<input type="text"/>
ID	<input type="text"/>	ランク	<input type="text"/>
製品名	<input type="text"/>	有効期間(自)	<input type="text"/>
提供形態	<input type="text"/>	有効期間(至)	<input type="text"/>
エディション	<input type="text"/>		

《ライセンスキー更新エラー》

ライセンスキーの複合化処理でエラーが発生しました。
ライセンスキーが正しいか確認してください。

<参考>

ライセンスキーの有効期間(至)間近、もしくは有効期間(至)を過ぎている場合は【現在のライセンスキー情報】の「有効期間(至)」の右横にその旨の内容が赤字で表示されます。

※有効期間(至)が間近の場合

ライセンス認証情報メンテナンス

【現在のライセンス情報】

ライセンスキー | 1qc085k8FjDHthcl+s58igbrVe/cGyg4SQFixX7JkHf=

顧客番号	20221019	ユーザー数	1
ID	9	ランク	3 - Premium
製品名	1 - 電債の達人	有効期間(自)	2021/10/20
提供形態	1 - オンプレミス	有効期間(至)	2022/10/19 ※期限間近
エディション	1 - スタンドアロン		

※有効期間(至)を過ぎている場合

ライセンス認証情報メンテナンス

【現在のライセンス情報】

ライセンスキー | 1qc085k8FjDHthcl+s58igbrVe/cGyg4SQFixX7JkHf=

顧客番号	20221019	ユーザー数	1
ID	9	ランク	3 - Premium
製品名	1 - 電債の達人	有効期間(自)	2021/10/20
提供形態	1 - オンプレミス	有効期間(至)	2022/09/19 ※期限切れ
エディション	1 - スタンドアロン		

著作権表示

- 登録商標・商標について

- * Microsoft、Windows、SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本及びその他の国における登録商標です。

- * 手形の達人 は、ユニオンソフト株式会社の登録商標です。

- * 電債の達人は、ユニオンソフト株式会社の登録商標です。

- * その他記載されている会社及び製品名は、各社の商標登録または商標です。



電債の達人 ユーザーズガイドセットアップ編

— 禁無断転載 —

2022年10月1日 第1版発行

著者・発行書 ユニオンソフト株式会社



〒852-8137 長崎県長崎市若葉町16-11 ブライト住吉 5F

TEL 050-2018-2788 FAX 095-813-0035

本書に関する著作権の全権はユニオンソフト株式会社が所有します。